

2008. 4. 27 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2008年

きよめのハイウェイ④ 「きよめへの祈り」

テキスト：「平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なる者として下さいますように。主イエス・キリストの来臨の時、責められる所のないように、あなた方の霊、魂、からだを完全に守られますように。」
(I テサロニケ 5:23)

A. テサロニケ教会における聖めの必要

1. テサロニケ教会：パウロの第二次伝道旅行中、短期テサロニケ訪問で誕生。迫害によって退去したパウロが若いクリスチャンを励ますために書いたのがこの手紙。特に聖めを強調。
2. 聖いことは神の御心：「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け…」(4:3-6)
3. 聖めはクリスチャンの召しの目的：「神が私たちが召されたのは、汚れを行なわせるためではなく、聖潔を得させるため・・・」(4:7)

B. パウロは彼らの聖めのために祈る

1. 切実に祈った：「どうしても」との気持ち
2. 全人格的な聖め：霊、魂、肉とは、人間の人格的な活動のすべての分野が調和的に聖めの原理で整えられること
3. 全き聖め
 - ・清める（ハギアゾー）とは、「別ける」こと
 - ・どこから？一切の罪・汚れから（傷なき状態）
 - ・どこへ？心を尽くして神を愛する
 - ・中途半端ではなく（例外を残さず）「完全に！」
4. 転機的であり継続的
 - ・動詞のアオリストは転機的動作。
 - ・転機後の継続・保全も含む。

5. 神が可能にしてくださる

- ・ 平和（＝完全な霊的な豊かさ）の源である神
- ・ 約束を果たす真実の神が業を行い給う

終わりに：神の真実を信じ、聖めを受け入れよう

<テーマソング> 「みくにの大路」(福讃 365)

①みくにの大路に 花咲きかおり

救いを喜ぶ 歌声絶えず

(折返) みくにの大路を 直く歩めば

憂いの雨晴れ、朝日輝く

②大路をいきつつ み声を聞きて

さかえの御顔を 仰ぐうれしさ

③めぐみの春雨 草木にかかり

泉は湧きいで 旅人(たびと)を生かす